

# チャイルドラインほっかいどう

## 2017 年度事業報告

(事業年度：2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日)

### 【事業に関する報告】

#### I 子ども専用電話の開設事業

##### 1 電話受信状況 (2017 年 4 月 1 日から 2018 年 3 月 31 日まで)

専用電話は、昨年度通常総会の議決に基づき、毎週月曜と水曜の午後 4 時から 9 時までの時間帯で、原則 2 回線で開設しました。

2017 年度の開設日数は、延べ 95 日 (前年度 95 日) で、総着信数 7,183 件 (同 6,452 件)、会話成立は 1,649 件 (同 1,733 件) です。1 開設日当たりでは、着信数が 75.6 件 (同 67.9 件) で、会話成立数は 17.4 件 (同 18.2 件) となっております。

各月の受信状況、年齢層等については、以下の表のとおりです。

[第 1 表 電話受信件数]

	①総着信数	②総通話時間数	③会話成立	その他 (①－③)
2017 年 4 月	555	2,957.5	122	433
5 月	536	2,925	146	390
6 月	594	2,931	145	449
7 月	597	2,774.5	126	471
8 月	804	3,580	183	621
9 月	634	3,431	186	448
10 月	686	2,865	141	545
11 月	740	3,562	176	564
12 月	397	2,290	104	293
2018 年 1 月	525	2,118.5	110	415
2 月	498	2,126	106	392
3 月	617	2,757.5	104	513
総計	7,183	34,318 (571 時間 58 分)	1,649	5,534

[第 2 表 年齢層] \*発語有で会話不成立はふくまれません

年齢	男の子	女の子	不明	合計
未就学前	2	2		4
小学生 (低学年)	29	60	1	90
小学生 (高学年)	70	136	1	207
中学生	209	266	1	476
中卒～18 歳	485	344	2	831

不明	23	16	2	41
合計	818	824	7	1,649
おとな	1,110	274	186	1,570
発語なし				3,964
総着信件数	1,930	1,098	4,155	7,183

[第3表 電話の主訴（会話成立のみ）]

	未就学	小学生		中学生	中卒～ 18歳	不明	合計
		低学年	高学年				
学校・フリースクール	0	50	120	186	209	7	572
部 活	0	0	4	29	32	0	65
性	0	1	8	53	174	9	245
家 庭	0	4	19	52	87	2	164
職 場	0	0	0	1	8	0	9
ネットトラブル	0	0	2	6	8	0	16
地 域	0	4	8	9	12	0	33
自 分	2	31	46	140	301	23	545
合計	2	90	207	476	831	41	1,649

[表4表 関係性（会話成立のみ）]

	未就学	小学生		中学生	中卒～ 18歳	不明	合計
		低学年	高学年				
友人・知人	1	36	118	148	174	6	483
恋 人	0	4	5	12	51	0	72
先輩・後輩	0	1	0	13	17	0	31
同 僚	0	0	1	2	6	0	9
実 父	0	1	4	7	17	0	29
実 母	0	4	11	42	114	3	174
養 父	0	1	0	1	5	1	8
養 母	0	0	1	2	6	0	9
きょうだい	0	2	4	9	7	0	22
義理のきょうだい	0	0	0	2	4	0	6
祖 父	0	0	0	0	0	0	0
祖 母	0	0	1	7	6	0	14
先 生	0	3	10	17	25	1	56
顧問・指導者	0	0	0	5	7	0	12
近所の人	0	0	1	1	3	1	6
施設職員	0	0	0	1	3	0	4
知らない人	0	1	2	6	5	0	14
自分自身のこと	3	34	42	192	349	25	645

その他	0	3	7	9	32	4	55
合計	4	90	207	476	831	41	1,649

[第5表 かけ手の動機（会話成立のみ）]

	未就学	小学生		中学生	中卒～ 18歳	不明	合計
		低学年	高学年				
話を聴いてほしい	3	67	145	357	629	29	1230
答えが欲しい	1	13	44	84	133	3	278
誰かとつながっていたい	0	3	4	14	29	3	53
お試し	0	6	12	15	29	2	64
社会資源情報を求める	0	1	0	1	3	0	5
実際に動いて欲しい	0	0	0	0	1	0	1
チャイルドラインについて	0	0	0	1	1	0	2
その他	0	0	2	4	6	4	16
合計	4	90	207	476	831	41	1,649

[表6表 気持ち（会話成立のみ）]

	未就学	小学生		中学生	中卒～ 18歳	不明	合計
		低学年	高学年				
うれしい・たのしい	2	14	11	9	22	2	60
幸 せ	0	0	0	2	0	0	2
楽しみ・期待	0	2	6	5	7	0	20
満足・充実感	0	2	0	7	5	1	15
怒り・いらだち	0	4	11	15	34	1	65
憂 鬱	0	2	17	25	43	0	87
不 安	0	8	22	68	119	4	221
イヤだ	1	19	52	66	67	2	207
疲 れ	0	0	2	7	10	0	19
あきらめ	0	0	1	5	5	1	12
つらい・苦しい	0	0	6	46	73	4	129
悲しい	0	3	5	17	15	0	40
孤独・寂しさ	0	3	9	12	14	2	40
人目が気になる	0	2	2	4	15	1	24
自分に自信がない	0	2	2	7	28	1	40
恐怖・怖い	0	0	3	7	11	0	21
くやしい	0	0	4	8	12	1	25
困惑・困っている	0	19	29	69	122	8	247

葛藤・迷い・戸惑い	0	5	10	46	133	2	196
傷つきたくない	0	0	1	5	7	1	14
傷つけない	0	0	0	0	1	0	1
不明	0	1	7	18	34	8	68
その他	1	4	7	28	54	2	96
合計	4	90	207	476	831	41	1,649

〔第7表 かけ手の端末〕

端末	総着信数	会話成立
携帯・PHS	5,164	1,153
固定・公衆	2,015	493
不明	4	3
合計	7,183	1,649

## 2 電話開設従事者数

電話開設に伴う従事者については、1開設日につき2時間30分ごとの2シフトとし、1シフト当たり「受け手3人」「支え手1人」を基本に編成しました。また、事務局員についても開設日を活動日とし、電話室の管理等行ってきました。

2017年度のシフト配置状況については、以下のとおりです。

〔シフト配置状況〕

	開設日数	Aシフト		Bシフト	
		受け手	支え手	受け手	支え手
2017年4月	8	28	8	26	9
5月	9	32	9	25	9
6月	8	35	8	28	8
7月	8	31	8	26	8
8月	9	30	7	25	8
9月	7	27	7	22	7
10月	8	26	8	25	8
11月	9	32	9	23	9
12月	8	28	7	20	8
2018年1月	7	25	7	20	7
2月	7	35	7	31	7
3月	7	34	7	35	7
合計	95	363	92	306	95

※受け手にはインターンを含む

## II 研修事業

### 1 受け手 13期インターン研修（1月から実施・2017年度開催分を掲載）

期 間： 2017年1月31日～6月20日

場 所： 社会福祉総合センター

受講生：15名 受け手認定13名

7	2017年 4月11日 (火)	講義「子どもの現状」 生きづらさを抱える子どもたち	興正こども家庭支援センター 渡邊 洋平
8	2017年 4月18日 (火)	ロールプレイ 3	北星学園大学 今川 民雄
9	2017年 5月9日 (火)	ロールプレイ 4	北星学園大学 今川 民雄
10	2017年 5月23日 (火)	講義「子どもの現状」 少年犯罪について	北海道警察本部少年課 少年サポートセンター
11	2017年 6月6日 (火)	ロールプレイ 5	北星学園大学 今川 民雄
12	2017年 6月20日 (火)	グループワーク	北星学園大学 栗山 隆

## 2 受け手 14期養成研修

募集期間：2017年4月1日（土）～5月31日（水）

研修期間：2017年7月11日～12月5日

研修場所：社会福祉総合センター

受講生：21人

回	日 時	テ ー マ	講 師
1	2017年 7月11日（火）	開講式・オリエンテーション チャイルドラインとは	チャイルドライン代表 理事 今川 民雄
2	7月18日 (火)	講義 「子どもの人権について」	弁護士 増谷康博
3	8月8日（火）	グループワーク 1 「お互いを知り合おう」 「伝えること、伝わること」	北星学園大学 栗山 隆
4	8月22日 (火)	グループワーク 2 「私とあなたと違うこと」	北星学園大学 栗山 隆
5	9月12日 (火)	講義 「子どもの現状」 青年期について	札幌学院大学 村澤和多里
6	9月26日 (火)	ロールプレイ 1 電話相談を体験する ～声と声だけでできること	興正こども家庭支援センター 渡邊 洋平
7	10月10日（火）	ロールプレイ 2 共感的な対応とは ～「聞く」と「聴く」の違い	興正こども家庭支援センター 渡邊 洋平
8	10月24日（火）	ロールプレイ 3 自分の特徴を知る	興正こども家庭支援センター

		～「癖」を見つける	渡邊 洋平
9	11月 7日 (火)	ロールプレイ 4 困難なケースへの対応を学ぶ① ～緊急性の高い相談とその対応	興正こども家庭支援センター 渡邊 洋平
10	11月14日 (火)	ロールプレイ 5 困難なケースへの対応② ～様々な意図を持った相談への対応	興正こども家庭支援センター 渡邊 洋平
11	11月21日 (火)	ロールプレイ 6 ロールプレイの振り返り ～インターンに向けて	興正こども家庭支援センター 渡邊 洋平
12	12月 5日 (火)	電話をとるということ インターン研修の前に	チャイルドライン代表理事 今川 民雄

### 3 受け手 14期インターン研修

期 間：2018年1月～6月

場 所：社会福祉総合センター等

受講生：養成研修を修了しインターンとして認定された17人（内2人が途中辞退）

回	月 日	内 容	講 師
1	2018年 1月16日(火)	オリエンテーション1	研 修 部
2	1月30日(火)	オリエンテーション2	研 修 部
3	2月6日(火)	講義「子どもの現状」 子どもたちは、今	スクールカウンセラー 中野ひろみ
4	2月20日(火)	ロールプレイ 1	北星学園大学 今川 民雄
5	3月6日(火)	講義「子どもの現状」 思春期の性	北海道教育大学 佐藤由佳利
6	3月20日(火)	ロールプレイ 2	北星学園大学 今川 民雄
7	4月10日(火)	講義「子どもの現状」 生きづらさを抱える子どもたち	興正こども家庭支援センター 渡邊 洋平
8	4月24日(火)	ロールプレイ 3	北星学園大学 今川 民雄
9	5月8日(火)	ロールプレイ 4	北星学園大学 今川 民雄
10	5月22日(火)	講義「子どもの現状」 少年犯罪について	道警本部少年課 少年サポートセンター
11	6月5日(火)	ロールプレイ 5	北星学園大学 今川 民雄
12	6月19日(火)	グループワーク	北星学園大学 栗山 隆

#### 4 受け手継続研修

期 間：2017年5月～2018年4月

場 所：事務局、社会福祉総合センター

受け手：20名で開始 8月より14期インターン研修認定者合流

(内容)

全体研修：5回 グループ研修：14回 (2グループ)

##### 【全体研修】

日 程	場 所	内 容
2017年 5月23日(火)	社会福祉総合センター	今の子どもたち 道警少年サポートセンター
6月15日(木)	CLH事務局	年度初めにあたり 自分を見つめる
7月14日(金)	社会福祉総合センター	14期生認定式・交流会
12月8日(金)	社会福祉総合センター	交流会
2018年 3月6日(火)	社会福祉総合センター	14期インターン研修と合同 (佐藤由佳利先生講義)

##### 【グループ研修(電話担当の振り返り、ロールプレイ等)】

ファシリテーター：今川民雄代表理事(北星学園大学)

田辺毅彦常務理事(北星学園大学)

##### 第2金曜日 田辺グループ

日 程	場 所	内 容
2017年 8月18日(金)	CLH事務局	振り返り・ロールプレイ
9月8日(金)	CLH事務局	振り返り・ロールプレイ
10月13日(金)	CLH事務局	振り返り・ロールプレイ
11月10日(金)	CLH事務局	振り返り・ロールプレイ
2018年 1月19日(金)	CLH事務局	振り返り・ロールプレイ
2月16日(金)	CLH事務局	振り返り・ロールプレイ
4月13日(金)	CLH事務局	1年の振り返り

##### 第3木曜日 今川グループ

日 程	場 所	内 容
2017年 8月17日(木)	CLH事務局	振り返り・ロールプレイ
9月21日(木)	CLH事務局	振り返り・ロールプレイ
10月12日(木)	CLH事務局	振り返り・ロールプレイ
11月16日(木)	CLH事務局	振り返り・ロールプレイ

2018年 1月18日(木)	CLH事務局	振り返り・ロールプレイ
2月22日(木)	CLH事務局	振り返り・ロールプレイ
4月19日(木)	CLH事務局	1年の振り返り

### Ⅲ 広報啓発事業

#### 1 「2017年度カード等全道配布事業」実施報告

(事業主旨)

(株)北海道日本ハムファイターズ・ファイターズ基金及び北海道新聞社、赤い羽根共同募金会、札幌ライオンズクラブの助成事業として実施。各小中学校に配布するカードは北海道日本ハムファイターズ・ファイターズ基金が作成。高校生用カードは北海道新聞社からの寄付によって作成しました。また、養護学校・特別支援学校等の児童生徒に対しては、点訳やルビなどの配慮を要するカードは当会で作成しました。

小・中・高校及び児童会館の掲示用ポスター、点訳等のカード、当会の昨年度活動状況を掲載した2017年版広報誌の印刷費及び送料などは、赤い羽根共同募金会の助成を受けた。

カードとポスターには助成団体のほか、後援団体として北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会を掲載しました。

配布した枚数の合計は、

【カード】555,335枚(小学生268,230枚、中学生143,530枚、高校生143,400枚、点訳カード175枚)

【ポスター】2,752枚(小学校1,237枚、中学校782枚、高校288枚、養護学校・特別支援学校89枚 併設校には小中高用の各1枚を配布(小学用31枚、中学用32枚、高校用26枚)、市町村教育委員会356枚(小・中学校用各1枚と市町村立高校のある教育委員会には高校用ポスターも送付)

【広報誌】2,658枚(各学校は上に同じ、教育委員会は各1枚)

このほか、11月24日に札幌市児童会館105館(ミニ児童会館を除く)へ小学生用カード各200枚(合計21,000枚)と小学校用ポスター及び広報誌各1枚を、10月26日には北海道フリースクール協議会に小・中・高校生用カード各100枚を配布しました。

(配布対象及び配布方法)

##### (1) 配布対象

道内小・中・高校(国立・私立を含む)とし、カードは小学生用と中学生用、高校生用の3種を、ポスターも小学校用と中学校用、高校用の3種を配布しました。

各教委には、教育長宛に配布依頼文とカードは児童生徒数に約5%分を上乗せし、ポスターと2017年版広報誌は各学校1部に教育委員会分も加えて送付しました。

配布は7回に分けて実施。詳細は別紙の通り。

(事業収支決算)

(収入=910,160円)

助成金	500,000円	赤い羽根共同募金会
寄付金	272,160円	北海道新聞社
広報誌広告料	138,000円	

(支出=857,412円)

ポスター印刷費	152,782円	(折り代、送料込)
カード印刷費	234,840円	(高校生用、特別支援学校用、点訳カード)
広報誌印刷費	132,840円	(2017年版)
通信運搬費	203,707円	(小包分161,352円、郵送分42,355円)
交通費	47,600円	袋詰め作業従事者交通費、駐車料金
消耗品費	86,143円	封筒、ラベル等

※1 小中生用カードの印刷は、(株)日本ハムファイターズ・ファイターズ基金が負担

(取組経過)

- 5月15日 赤い羽根共同募金会に助成申請書を提出
- 5月18日 北海道新聞社へ支援の要請(高校生用カード作製費等の寄付申込)
- 6月6日 赤い羽根共同募金会から助成決定通知
- 14日 北海道日本ハムファイターズへカード配布に関する依頼
- 24日 日本ハムファイターズによるチャイルドラインカード贈呈式(札幌ドーム)
- 29日 北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会に後援名義の申請
- 7月4日 札幌市教育委員会から後援決定通知
- 5日 北海道から後援決定通知
- 6日 札幌市から後援決定通知
- 18日 北海道教育委員会から後援決定通知
- 8月3日 北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全グループに配布の依頼
- 11月1日 札幌市教育委員会児童生徒担当課に配布の依頼
- 北海道フリースクールネットワーク協議会にカードの配布依頼
- さっぽろ青少年女性活動協会に、児童会館へのポスター掲示等の依頼

2018年

- 3月28日 養護学校・特別支援学校と通信制高校に配布

(別紙)2017年度カード等配布事業 配布枚数と発送日												
振興局等	市町村数	小学校		中学校		高校		小中高の合計		配布合計		発送日
		学校数	カード数	学校数	カード数	学校数	カード数	学校数	カード数	学校数	カード数	
後志	20	81	9380	57	5520	19	5440	197	20340			
渡島	11	105	19370	61	10820	24	10460	212	40650	474	64350	8月25日
檜山	7	28	1560	19	1000	4	800	65	3360			
石狩	7	75	23830	47	12960	12	10820	148	47610			
胆振	11	91	20400	56	10840	24	9970	193	41210	419	95800	9月14日
日高	7	35	3550	22	1910	7	1520	78	6980			
空知	24	90	12890	68	7560	21	7600	227	28050	537	80870	9月28日
上川	23	144	25620	89	14150	31	13050	310	52820			
留萌	8	25	2140	21	1200	7	1140	69	4480			
宗谷	10	48	3460	32	1910	7	1510	107	6880	409	40650	10月12日
オホーツク	18	102	14360	69	7740	26	7190	233	29290			
十勝	19	113	18960	67	10050	24	9630	242	38640			
釧路	8	66	11850	48	6590	14	5850	144	24290	459	72070	10月26日
根室	5	30	4610	26	2590	7	1940	73	9140			
札幌市(小)	1	204	94750					204	94750	204	94750	11月10日
札幌市(中)				100	47570			100	47570	156	97800	11月24日
札幌市(高)						56	50230	56	50230			
通信制高校						5	2000	5	2000	5	2000	
養護学校・特別支援学校		(31)	1500	(32)	1120	(26)	4250	(89)	6870	60	6870	2017年 3月28日
同(点訳カード)										4	175	
<b>総計</b>	<b>179</b>	<b>1237</b>	<b>268230</b>	<b>782</b>	<b>143530</b>	<b>288</b>	<b>143400</b>	<b>2663</b>	<b>555160</b>	<b>2727</b>	<b>555335</b>	
《その他配布箇所》												
札幌市児童会館		105	21000					105	21000	105	21000	11月24日
北海道フリースクールネットワーク協議会			100		100		100		300		300	10月26日
※「特別支援」の学校数は「配布合計」の数字で、小中高記載の数はポスター配布数を掲載した。												

## 【運営に関する報告】

### I 会議の開催状況

#### 1 総会の開催

2017年度（第16回）通常総会

（2017年5月26日 札幌市ボランティア活動センター研修室A）

2016年度事業報告、同収支決算報告、同会計監査報告、法人名称の変更及び定款改正、2017年度事業計画、同予算などすべて可決しました。

法人名称の変更等に伴う定款改正の認証については、6月6日に所轄庁である札幌市に申請し、7月27日に認証書を受領しました。

#### 2 理事会

2017年度の開催は、以下のとおりです。

第1回（2017年4月13日）

- ・ 2017年度（第16回）通常総会の開催について

第2回（2017年12月7日）

- ・ 2017年度上半期の活動状況及び予算執行状況について
- ・ 2017年度予算の補正について

2018年度

第1回（2018年4月27日）

- ・ 2018年度（第17回）通常総会の開催について
- ・ 運営委員会規則の改正について

### 3 運営委員会

理事会業務の円滑化を図ることを目的とした運営委員会について下記のとおり開催しました。主な審議事項は以下のとおりです。

(運営委員会の開催状況)

第1回 (2017年5月16日)

- ・ 2017年度通常総会の進行について(任務分担)
- ・ 受け手と運営担当者の意見交換会(4/1開催)の報告

第2回 (2017年6月13日)

- ・ 2017年度カード等全道配布事業について
- ・ 花フェスタの取り組みについて

第3回 (2017年7月28日)

- ・ 設立15周年に向けたプロジェクトチーム(P T)の設置について
- ・ 運営委員会規則の改正について

第4回 (2017年8月25日)

- ・ 設立15周年に向けたP Tメンバーの募集について
- ・ ホームページ(H P)の改正について

第5回 (2017年9月22日)

- ・ 社会貢献財団表彰式典の参加について
- ・ ホームページ(H P)について社福法人H O Pの担当者と意見交換
- ・ 北海道東北エリア会議の出席者について
- ・ 設立15周年に向けたP Tについて

(応募者がなくP T設置は断念。10/7に受け手運営担当者の意見交換会を開催し、意見等を交わすこととした)

第6回 (2017年10月27日)

- ・ ホームページ(H P)の更新等の契約について(契約先・社福法人H O P)

第7回 (2018年1月30日)

- ・ 公開講座の開催について
- ・ 北海道東北エリア会議について
- ・ 支援センター全国運営担当者会議について
- ・ 個人情報保護対策について

第8回 (2018年2月26日)

- ・ 公開講座の開催について(進行及び任務分担について)
- ・ 北海道東北エリア会議の出席者について

第9回 (2018年3月23日)

- ・ 設立15周年事業について  
(太陽財団からの30万円助成決定に伴い「C L H 2018 ワークショップ(仮称)」について協議検討)
- ・ 2018年度通常総会及び理事会の開催について

### 4 受け手・運営担当意見交換会

(1) 4月1日 出席者 16人

電話の2回線実施体制等の検討課題については、今後も全体研修などで議論を深める

とともに、意見として出された「設立15周年を前に、受け手の増員などどのような活動が求められているのかを議論し合うプロジェクトチーム（PT）を設ける」とし、受け手や運営スタッフからPTメンバーを募り、その中でも改善点を出し合うこととしました。

(2) 10月7日 出席者 13人

設立15周年事業の取り組む等について意見交換。運営担当者が継続研修に参加し、当日参加出来なかった受け手に記念事業の在り方等で意見を聞くこととした。また、日常活動に関する意見や要望など、活動の活性化に向けて議論を交わしました。

## 5 公開講座の開催

3月18日、公立中学校「保健室の先生」として勤められCL支援センター理事の金子由美子さんを講師に招き、「今の子どもたち」をテーマに貧困・思春期・LGBTについての講演と意見交換を行いました。会場は、大通西3丁目道新プラザ内の「DO-BOX」で、約60人が参加しました。

開催にかかる経費は下記の通りで、社会貢献財団からの表彰に伴う副賞（50万円）の一部を活用しました。

(会場費)	32,616円
(講師料及び交通費)	70,000円
(開催案内チラシ)	14,108円
合計	116,724円

## 6 チャイルドライン支援センター関係

(1) 支援センター2017年度総会（東京） 2017年6月3日（土）

参加者 長江由美子常務理事

(2) 北海道東北エリア会議

11月12日 仙台市

参加者 坂本裕子代表理事、長江由美子常務理事 羽原牧子理事

3月3日 仙台市

参加者 長江由美子常務理事

(3) 全国運営者会議

2月3～4日 東京都

参加者 長江由美子常務理事

(4) 記録データ送付 電話部

### <水口良子理事（支援センター）関係>

(1) 総会（東京） 2017年6月3日

(2) 理事会 4月22日、7月9日、8月27日、10月1日、2018年1月13日、3月4日  
計6回

(3) 事業部会 4月22日、6月2日、7月9日、8月27日、10月1日、12月17日、  
2018年1月13日、2月2日、3月4日、3月25日 計10回

(4) オンライン関係

オンラインPT会議 4月15日、6月4日、6月27日、2018年2月4日 計4回

オンライン東京実行委員会 2018年1月28日、3月31日

オンライン参加者会議 2018年2月4日

オンライン研修

事前研修 8月19・20日、(東京)10月7日、(埼玉)10月11・18日、(横浜)10月14・15日、(福島)2018年2月11・12日、(大阪 富田林)3月1・2日、(埼玉)

事後研修 4月15日(東京) 支え手・受け手(9:30~17:00)、6月4日(東京) 受け手(12:30~16:30)、6月18日(東京) 支え手、9月30日(東京) 受け手・支え手(9:30~17:00)、2018年1月28日 受け手・支え手(10:00~16:00)、3月31日(東京) 受け手・支え手

トリアル参加(東京)5月12・13・14日、8月29・30・31日、11月29・30日、12月1日、2018年3月20・21日

(5) エリア会議 11月12日 北海道東北エリア会議(仙台)

11月19日 北陸近畿エリア会議(京都)

(6) 全国運営者会議 2018年2月3・4日(東京)

## II 会員等の状況

2017年度中の正会員は新たに認定された受け手など14人が新規加入しました。一般会員の個人及び団体、サポート会員も同様の取り組みにより、それぞれ新規会員が増えました。また、23企業の賛同を得て2017年版広報誌に広告を掲載することができました。

各会員の増減状況は、下記のとおりです。

【2017年度各会員数の状況】

	2017年4月初	2018年3月末	加入・退会者	増減
正会員	109人	110人	(加入)14人 (退会)13人	1人増
一般会員・個人	16人	16人	(加入)1人 (退会)1人	増減0
一般会員・団体	13団体	13団体	(加入)0団体 (退会)0団体	増減0
サポート会員	64人	57人	(加入)2人 (退会)9人	▲7人

## III その他

### 1 北海道日本ハムファイターズ・ファイターズ基金への募金活動

日本ハムファイターズから、昨年引き続きチャイルドカードの印刷資金についての支援決定を受け、2017年6月24日に札幌ドームマウンド上で、日ハム・栗山英樹監督から児玉代表理事にカード目録が手渡されました、

6月24.25日と8月5.6日の4日間、北海道日本ハムファイターズの公式戦(札幌ドーム)中に、ファイターズ基金への募金活動がありました。チャイルドラインほっかいどうから延べ9人が参加しました。同基金から、小中学生に配布するカードの支援を受けています。

## 2 CLふくしまとの交流

6月18～19日に、CLふくしまの理事長ら5人が来道。8日は受け手等との交流会と懇親会、19日は事務局見学と運営スタッフとの意見交換を行いました。

## 3 公益財団「社会貢献財団」からの表彰

当会からの申請に基づき、6月6日に当会の活動状況で財団からの調査があり水口事務局長が説明。表彰団体として決定を受け、11月27日に東京・帝国ホテルで開かれた受賞式典に坂本裕子代表理事他6人が参加した。受賞に伴う副賞として50万円受領しました。

## 4 太陽財団助成決定事業贈呈式

「設立記念事業」として30万円の助成金が認められたことにより、太陽財団主催の「決定助成事業贈呈式」が2月15日に市内ホテルで開催され、他の受賞団体との交流を深めた。設立記念事業は、今後内部議論を進めながら具体化する予定です。

## 5 幌南ロータリークラブ

10月20日に幌南ロータリークラブの例会でチャイルドライン活動を紹介。児玉代表理事と水口事務局長が参加し、CL活動の意義など説明しました。

## 6 札幌市子どものための相談窓口連絡会議

- ・2017年7月26日 欠席
- ・2018年3月9日 水口事務局長が出席（インターネットを使った相談等で意見交換）

## 7 メディア等の取材関係

- ・5月2日 北海道新聞に14期養成研修募集の記事掲載
- ・5月9日 市政記者クラブに「14期養成研修 応募要領」を投げ込み
- ・7月13日 STVの取材、「子どもの声を聞いていますか」をテーマにCLの活動紹介を含め7月19日に放映されました
- ・2月23日 「北海道いのちの電話」から、増加傾向にある若者の自死についてCLからの意見を聞きたいとのことで、今川代表理事が対応しました。
- ・3月18日 公開講座に北海道新聞の取材を受けた。
- ・3月27日 三角山放送局の番組に出演、水口事務局長が対応しました。

## 8 認定NPO法人の更新

寄付金等の税優遇措置適用団体として2013年2月21日に取得した「認定NPO法人」資格の更新期5年を迎え、所轄庁である札幌市に、2017年10月18日に更新申請書等関係書類を提出。数回の意見調整の後、2018年1月30日に札幌市による関係帳簿（会計、総会及び理事会の開催状況、寄附金受領書発行状況等）等の実態調査及びヒアリングを経て、3月2日に更新決定書を受領しました。これに伴う「認定NPO法人」資格の有効期間は2023年（平成35年）1月20日までとなります。

## IV 各部の活動報告

### 研修部

- ・各研修の企画運営、講師調整連絡、当日受付事務等の実施
- ・13期認定式、交流会
- ・14期応募者面接
- ・研修部会議 4/4、5/30、6/6、7/4、8/1、9/12、10/10、11/7、12/12、2/12、3/13、4/20

### 電話部

- ・電話統計データの作成
- ・休務・辞退者及び復帰者の対応

### 広報部

- ・一般広報紙の作成・発行（2017年度版＝2016年度の事業報告）
- ・会員用広報誌「CLH通信」の発行（2018年2月19日発行）
- ・ホームページの更新（更新等は社福法人HOPに委託）

### 渉外部

- ・2017年度「イオンの幸せの黄色いレシートキャンペーン」  
イオン札幌苗穂店・・・・・・・・54,400円（参加3回）
- ・北海道日本ハムファイターズ基金ウイーク参加  
札幌ドームボランティア参加 6月24、25日 参加9名  
8月5、6日 参加9名
- ・キッズ花フェスタ参加 6月24日～7月2日（内7日間） 参加6名
- ・企画渉外部会議 2回

### 支え手会議

- ・支え手会議の開催  
2017年6月1日、9月7日、2018年2月1日  
2017年11月23日 受け手との意見交換会

### 財務委員会

会員増強に努める一方、平成29年10月20日、札幌南ロータリークラブで水口良子CLH事務局長が「チャイルドラインから見た子どもたち」が講演、寄付金を頂いた。児玉代表理事も同行した。光永理事（財務委員会）の尽力で、母の日花束プレゼントの売り上げの一部を寄贈してもらった。また太陽財団へ助成金依頼の働きかけを行った。